

NEWS RELEASE

2014.4.15

梅雨空の向こうに現れる「森」。人と自然が歩むべき、道しるべ。

『見晴らす展』日本のけしきを彫る人 田中圭介

2014年5月30日(金)から開催

ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、一木にミニチュアの風景を彫り込み、アクリル絵の具で彩色した作品で知られる田中圭介による初の大型個展を2014年5月30日(金)から6月22日(日)まで開催します。

田中圭介の木彫が創り出す「けしき」に分け入る時、木の香りに鼻をくすぐられ、誰しもビルが林立する都会にいることを忘れてしまうでしょう。田中の一刀一刀が浮き彫りにする世界は木材がかつて生きていた姿を、空に向かうように伸びていた息づかいを思い起こさせてくれます。

彼の手によって角材は再び樹々へ。あるいは草花や滝、山や雲となって新たないのちを輝かせていきます。

森を歩く時、人は無意識に深く呼吸する。全身が目や耳になったように、いつもより万物が鮮やかに感じられる。そんな研ぎ澄まされる感覚が蘇る心地よさを、銀座に現れる「森」で体験できる展覧会です

Ⅱ 展覧会概要 Ⅱ

展覧会名：『見晴らす展』日本のけしきを彫る人 田中圭介

会 期：2014年5月30日(金) - 6月22日(日)

[24日間] ※会期中無休

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は 19:30 まで)

入 場 料：無料

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス

〒104-0061 中央区銀座 1-7-7

ポーラ銀座ビル 3階

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ

東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分

JR 有楽町駅 京橋口から徒歩5分

主 催：株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス

協 力：山本現代

アートディレクション：柿木原政広

企画協力：art gardens

U R L：<http://www.po-holdings.co.jp/m-annex/>



《回天》2008年 樟、アクリル絵の具、鉛、顔料
photo:Keizo Kioku

【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス コーポレートコミュニケーション室 TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600(ハローダイヤル)



上 : 《到る処》2008年 樟、アクリル絵の具
 右 上 : 《到る処》(部分) photo:Keizo Kioku
 右 下 : 《吐景》2014年 樟、アクリル絵の具、ワックス
 photo:Ichiro Mishima

|| プロフィール ||

田中圭介

1976年千葉県生まれ。東京藝術大学美術学部彫刻科卒業、同大学美術学部修士課程彫刻科修了。

一木から掘り出した「材木」を彷彿させる柱型の樟の木に、ミニチュア的風景を彫り込み、アクリル絵の具で彩色した作品で知られる。自然の風景の一部を切り取ったような意匠だが、よくみれば植林された均一な山や森であったり、実は人工的な自然を小さな墓や観覧車、鳥居などと共に、ユーモラスに彫り込んでいる。

主な個展に「青山」(2008年、山本現代、東京)、「傾景」(2012年、山本現代、東京)。主なグループ展に「アトリエの末裔あるいは未来展」(2006年、旧平櫛田中邸、東京)、「物語の彫刻」(2007年、東京藝術大学 大学美術館陳列館、東京)、「Sculpture Times #1 From NUDE」(2011年、上野の森美術館ギャラリー、東京)、「パラレル・ファー・イースト・ワールド」(2012年、A4 Contemporary Arts Center、成都)など

|| 関連イベント ||

クロス×トーク

田中圭介×山田香織氏 (盆栽家、彩花盆栽教室主宰)

田中は「死にゆく木を再生させ」、山田氏は「生きゆく木を育てる」小さな森林世界をつくり上げる二人。

共通性や相違について、また人間にとってかけがえのない木や森・自然についてお話しいたします。

日時：6月14日(土) 17:30 - 18:30 / 場所：ポーラ ミュージアム アネックス

※申し込みにはポーラ ミュージアム アネックス発行のメルマガ登録が必要となります。